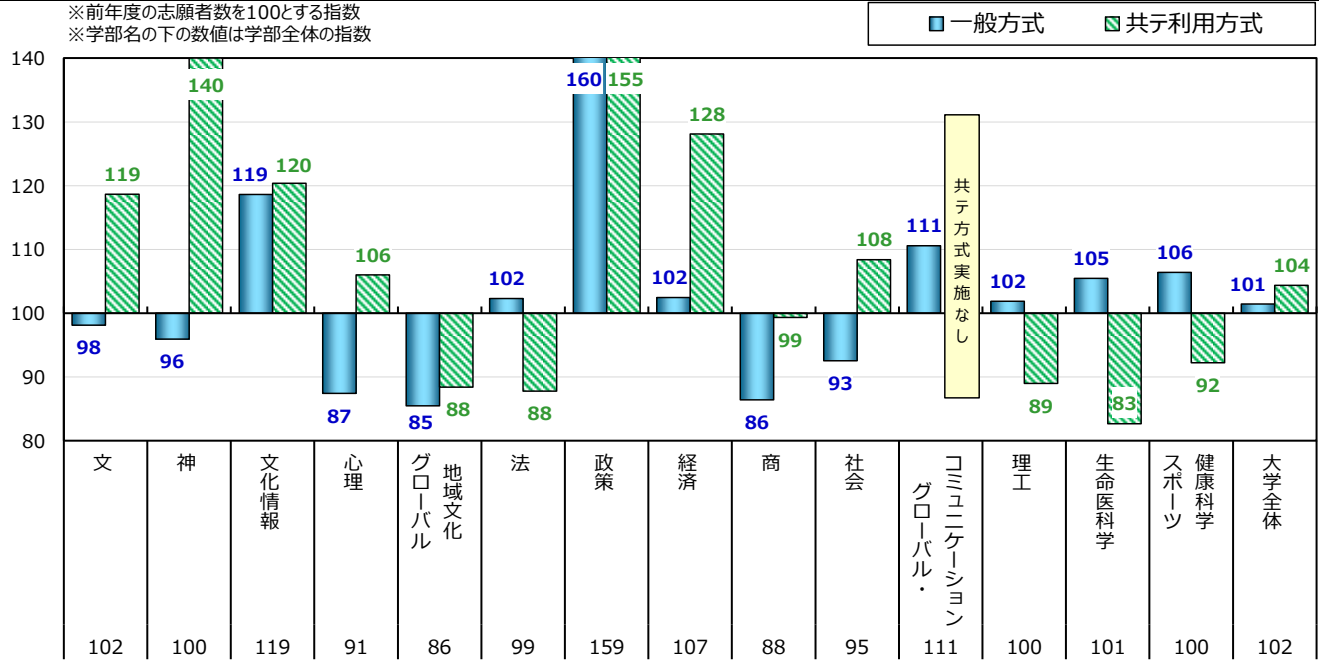


同志社大：大学全体では微増で3年連続増加

一般：+574人 共テ：+428人

※前年度の志願者数を100とする指数  
※学部名の下の数値は学部全体の指数



**主な入試変更点** 選抜方法：社会(メディア)<共テ>…個別廃止、  
国、歴公、外が選択から必須へ、選択から理・理基除外、数の出題範囲変更  
<共テ>(国 or 歴公 or 数① or 数② or 理・理基 2 or 外)→3  
※数①：数 I、数 I・A ※数②：数 II、数 II・B  
<個>論  
→<共テ>国+歴公+外+(数① or 数②)  
※数①：数 I・A ※数②：数 II・B  
募集人員：スポーツ健康科学(スポーツ健康科学)<共テ・スポーツ競技力加点方式>…19人→15人  
入試科目：政策(政策)<一般・全学部(文系)>…配点変更(選択科目重視型を廃止)  
選択科目重視型  
国<150>+外<200>+(歴 or 公 or 数)<200>=総点<550>  
→国<150>+外<200>+(歴 or 公 or 数)<150>=総点<500>

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、難関国立大志願者の併願先として狙われて、1,002人(102)の微増だが3年連続増加。方式別では、一般方式(101)は微増だが3年連続増加、共通テスト利用方式(104)はやや増加で志願者数1万人を4年ぶりに上回った。学部別では、14学部中6学部が増加、6学部が減少、2学部が前年度同数と増減が均衡。特に、政策(159)、文化情報(119)はいずれも大幅増加、グローバル・コミュニケーション(111)は増加、経済(107)はやや増加。一方で、グローバル地域文化(86)、商(88)、心理(91)は減少、社会(95)はやや減少。

**<一般方式>**

- 文(98)**は、2年連続前年度並。学科別では、(哲)(124)は大幅増加、(美学芸術)(114)は増加、(国文)(106)はやや増加。一方で、(文化史)(81)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(英文)(94)は2年連続増加の反動は小さくやや減少。
- 文化情報(119)**は、2年連続大幅増加。方式別では、<全学部(理系)>(156)、<全学部(文系)>(118)はいずれも2年連続大幅増加、<学部個別(文系)>(113)は2年連続増加、<学部個別(理系)>(104)はやや増加で2年連続増加。
- 心理(87)**は、減少で、志願者数は1,000人を下回った。方式別では、<全学部(理系)>(108)は2年連続増加。一方で、<学部個別>(84)は大幅減少、<全学部(文系)>(87)は減少。
- グローバル地域文化(85)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。コース別では、(グローバル地域文化/アメリカ)(141)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。2019年度以降前年度の反動による大幅増減が継続。一方で、(グローバル地域文化/ヨーロッパ)(70)、(グローバル地域文化/アジア・太平洋)(76)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 法(102)**は、前年度並。学科別では、(法律)(103)はやや増加、(政治)(100)は志願者数が前年度と同数。
- 政策(160)**は、3年連続減少の反動で激増。志願者数は6年ぶりに2,500人を上回った。方式別ではいずれも大幅増加で、選択科目重視型を廃止した<全学部(文系)>(175)は激増、<学部個別>(155)は大幅増加。
- 経済(102)**は、微増だが3年連続増加。方式別では、<学部個別>(103)はやや増加、<全学部(文系)>(102)は微増だが、いずれも3年連続増加。
- 商(86)**は、前年度大幅増加の反動で減少。コース別では、(商/フレックス複合)(104)はやや増加で2年連続増加。一方で、(商/商学総合)(83)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 社会(93)**は、2年連続増加の反動は小さくやや減少。学科別では、(社会福祉)(186)は前年度大幅減少の反動で激増、(メディア)(112)は増加。一方で、(産業関係)(53)は2年連続増加の反動で大幅減少、(社会)(82)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(教育文化)(86)は2年連続増加の反動で減少。
- グローバル・コミュニケーション(111)**は、2年連続増加。コース別では、(グローバル・コミュニケーション/英語)(115)は5年連続減少の反

動で大幅増加、(グローバル・コミュニケーション／中国語)(100)は前年度並。

- 理工(102)**は、微増だが3年連続増加。学科別では、10 学科中 6 学科が増加。(機能分子・生命化)(128)は大幅増加で3年連続増加、(電気工)(127)は5年連続減少の反動で大幅増加、(数理システム)(118)は大幅増加で、2019 年度以降前年度の反動による増減が継続。(機械理工)(109)は2年連続増加、(化学システム創成工)(108)は増加、(環境システム)(104)はやや増加で4年連続増加。一方で、(機械システム工)(85)は2年連続増加の反動で大幅減少、(インテリジェント情報工)(88)は2年連続減少で、志願者数は7年ぶりに1,000 人を下回った。(情報システムデザイン)(93)は2年連続増加の反動は小さくやや減少に留まった。
- 生命医科学(105)**は、やや増加で2年連続増加。学科別では、(医生命システム)(119)は2年連続大幅増加、(医工)(114)は2年連続減少の反動で増加。一方で、(医情報)(73)は2年連続増加の反動で大幅減少。
- スポーツ健康科学(106)**は、やや増加で3年連続増加。方式別では、<全学部(文系)>(117)は大幅増加で3年連続増加、<学部個別(文系)>(109)は増加。一方で、<全学部(理系)>(92)は2年連続増加の反動で減少、<学部個別(理系)>(95)は2年連続増加の反動は小さくやや減少に留まった。

#### <共通テスト利用方式>

- 文(119)**は、大幅増加。学科別では、5 学科中 4 学科が増加。(英文)(129)、(国文)(119)、(美学芸術)(117)はいずれも大幅増加、(哲)(113)は増加で、2019 年度以降前年度の反動による増減が継続。
- 文化情報(120)**は、2年連続大幅増加。
- 心理(106)**は、やや増加で2年連続増加。
- グローバル地域文化(88)**は、前年度大幅増加の反動で減少。コース別では、(グローバル地域文化／アメリカ)(115)は2年連続大幅増加。一方で、(グローバル地域文化／ヨーロッパ)(78)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(グローバル地域文化／アジア・太平洋)(85)は大幅減少で3年連続減少。
- 法(88)**は、2年連続大幅増加の反動で減少。学科別では、2 学科とも減少で、(政治)(63)は2年連続増加の反動で大幅減少、(法律)(95)は2年連続大幅増加の反動は小さくやや減少。志願者数は1,000 人を下回った。
- 政策(155)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願者数は9年ぶりに500 人を上回った。
- 経済(128)**は、大幅増加で4年連続増加。志願者数は6年ぶりに1,600 人を上回った。
- 商(99)**は、2年連続増加の反動はなく、前年度並。
- 社会(108)**は、前年度減少の反動で増加。学科別では、(社会福祉)(339)は前年度大幅減少の反動で3倍以上の激増、(メディア)(186)は2年連続大幅増加、(教育文化)(133)は前年度半減以下の反動で大幅増加。一方で、(社会)(58)は前年度倍以上の反動で大幅減少、(産業関係)(96)は前年度3倍以上の激増の反動は小さくやや減少。
- 理工(89)**は、前年度大幅増加の反動で減少。学科別では、10 学科中 7 学科が減少。(環境システム)(148)は3年連続大幅増加、志願者数は7年ぶりに200 人を上回った。(機械理工)(127)は2年連続大幅増加、(電気工)(126)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(電子工)(60)は前年度2.5 倍以上の激増の反動で大幅減少、(機械システム工)(67)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(化学システム創成工)(77)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(数理システム)(81)は2年連続増加の反動で大幅減少、(情報システムデザイン)(88)は2年連続増加の反動で減少。
- 生命医科学(83)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、3 学科とも減少。(医情報)(54)は大幅減少で2年連続減少、(医工)(88)は前年度大幅増加の反動で減少、(医生命システム)(93)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。
- スポーツ健康科学(92)**は、前年度大幅増加の反動で減少。